

むろまちばくふ

室町幕府ほろぶ

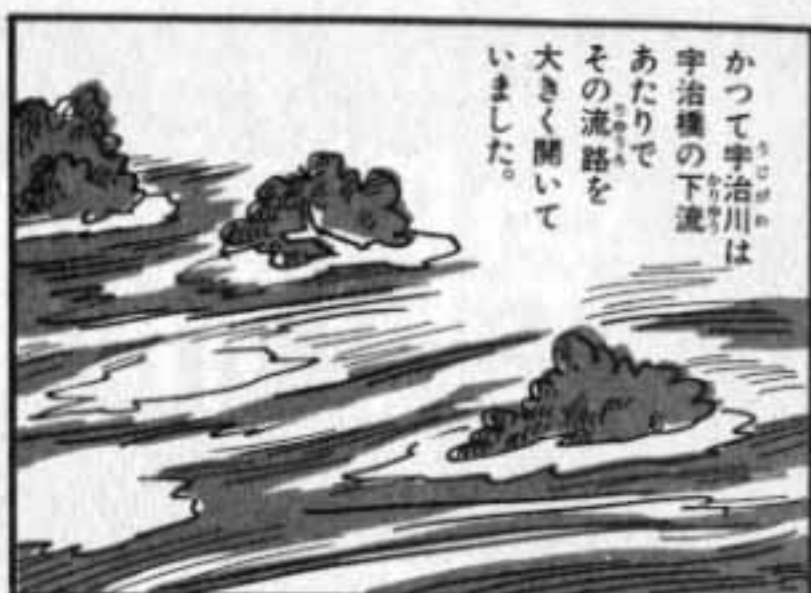
まきしま かつせん
— 榎島の合戦 —



時代を動かす荒波はさらにすさまじく水陸の結節点にある宇治をいやおうなく巻きこんでいくのです。



どしの土砂が川の中に堆積し、いくつもの浮島が形成されました。横島もそのうちの一つでした。



かつて宇治川は宇治橋の下流あたりで、その流路を大きく開いていました。



横島城を築いて室町幕府につかえた真木島昭光は、第十五代将軍足利義昭を丁重に出迎えました。



島には古くから豊かな文化はぐくまれました。



このとき真木島昭光の心境は、事態にどう対処すべきか思い悩んでいたに違いありません。



義昭さま
お久しぶりで
ございます



戦国大名の天下統一にむけた動きはあわただしく、尾張の国の織田信長は永祿十一年（一五六八年）この足利義昭を第十五代将軍に推戴し上洛をはたしました。しかしその後、信長と義昭の仲が悪くなり、将軍は宇治川の要害横島城におちのびてきたのです。



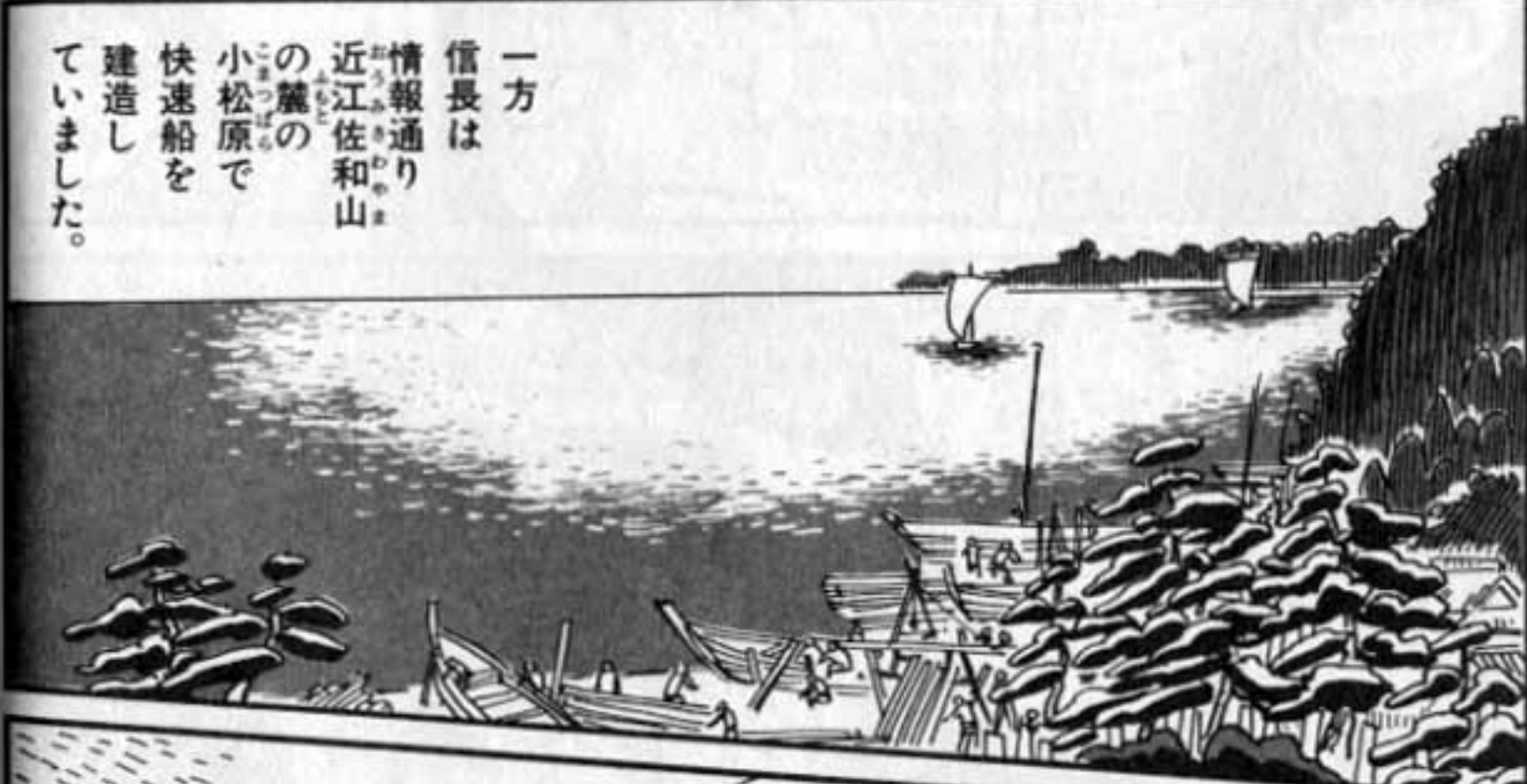
横島の城を
不穏な
空気が
包み
始めました。



信長は
恐ろしい相手
私はまち
がったのか



一方
信長は
情報通り
近江佐和山
の麓の
小松原で
快速船を
建造し
ていました。

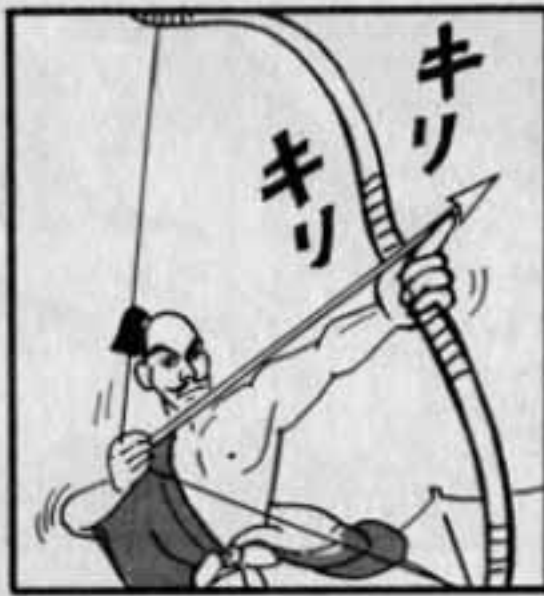
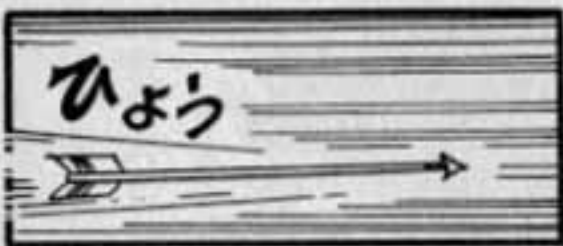


なに
義昭め
横島で
戦いの
用意を
始めたか



真木島昭光め
この信長に
桶突く気か







たちまちにして
京に入り



破竹の勢いで
南下……



ついに宇治川に
到達しました。



たちまちにして
京に入り



破竹の勢いで
南下……



ついに宇治川に
到達しました。





この信長が
せんじん
先陣を
切るぞ!!



ぐずぐずするな——





火を
つけろ



ややつ
敵は火を
放ったぞ



むむむ
横島の
村が
焼かれる



おのれ
信長め
.....



昭光あきみつどの
このままでは
横島よこしまの村は
全滅ぜんめつです

.....
.....
.....

残された道は
.....
ただ一つ
.....
降伏こうふくのみ
.....

このままでは
横島よこしまの地も
何もかも
なくなつて
しまう

信長のぶながは
恐ろしい
相手あいてだ





この將軍義昭に
逃げろと
申すのか!!



気でも狂ったか
昭光……



義昭さま
お逃げください



信長に弓を引かぬ
証をして
お逃げ
ください
……



ただ逃げたのでは
追われ
殺されます
お子さまを
人質に
さしだし



この場は
止むを
得ません
それに



ご決断を



猶予は
なりま
せぬ



この將軍義昭が
そこまで
おちぶれ
たのか



横島城は
信長の
手に落ち
昭光は
降伏し
將軍義昭は
追放され
ることになり
我が子を
人質にして
落ちのびたのです

戦乱の世も
絶え間なく流れる宇治川。
人々は力強く、
この時代を生きぬいたのでした。

